

平成25年度 佐渡市図画工作部 活動報告

部長 伊藤 陽子（佐渡市立金井小学校）

1 研究主題

実践的な研修の場を設け、日ごろの指導力の向上を図る。

2 研究の概要と実際

(1) 第1回 研修会

- ① 日時 8月5日（月）9時00分～11時30分
- ② 会場 金井小学校
- ③ 指導者 白杵 洋子 様
- ④ 内容

ア 新教育課程研究集会の伝達

伝達者 赤泊小学校 教諭 川上 純子
河崎小学校 教諭 小菅 静江

イ クロッキー実技指導

白杵先生より、子どもたちが素直な線で描けるようになるためのクロッキー指導方法を、指導していただいた。

クロッキーでは、体の動きの問題点を見つけて、よく見て描くようにさせることの大切さを教えていただいた。また、実技では、低学年は手の位置や横向き、中学年は下向きや頭の位置など着目させるポイントが違うことをモデルの動きを指し示しながら細かく指導していただき、学年の発達段階に応じた指導の仕方を学ぶことができた。



(2) 第2回 研修会

- ① 日時 10月9日（水）15時30分～16時45分
- ② 会場 金井小学校
- ③ 指導者 ペンてる株式会社 様
- ④ 内容 材料のワークショップ

材料体験ワークショップを通して、普段使用している材料の特性に応じた使い方を研修した。どんな表現をしたい時にどの材料を選択すると効果的であるのか、指導していただいた。

また、ペーパーサートやビニルシートの背景を用いて班ごとにお話作りを行い、単元の中でどのように言語活動を取り入れていけばよいか、実技を通して学ぶことができた。



3 成果と課題

白杵先生からは、子どもたちが感じたことを素直に線に表すことができるようになるため、各学年でどのポイントに気を付けて描けばよいのか、学年の発達段階を示しながら丁寧に指導していただいた。ペンてる株式会社様からは、様々な材料を体験させていただき、材料の特性に応じた使い方を教えていただいた。

学年によっても、題材によっても指導の悩みは様々ある。少しでも会員の日頃の指導・実践に生かせるよう、研修を積み重ねていきたい。